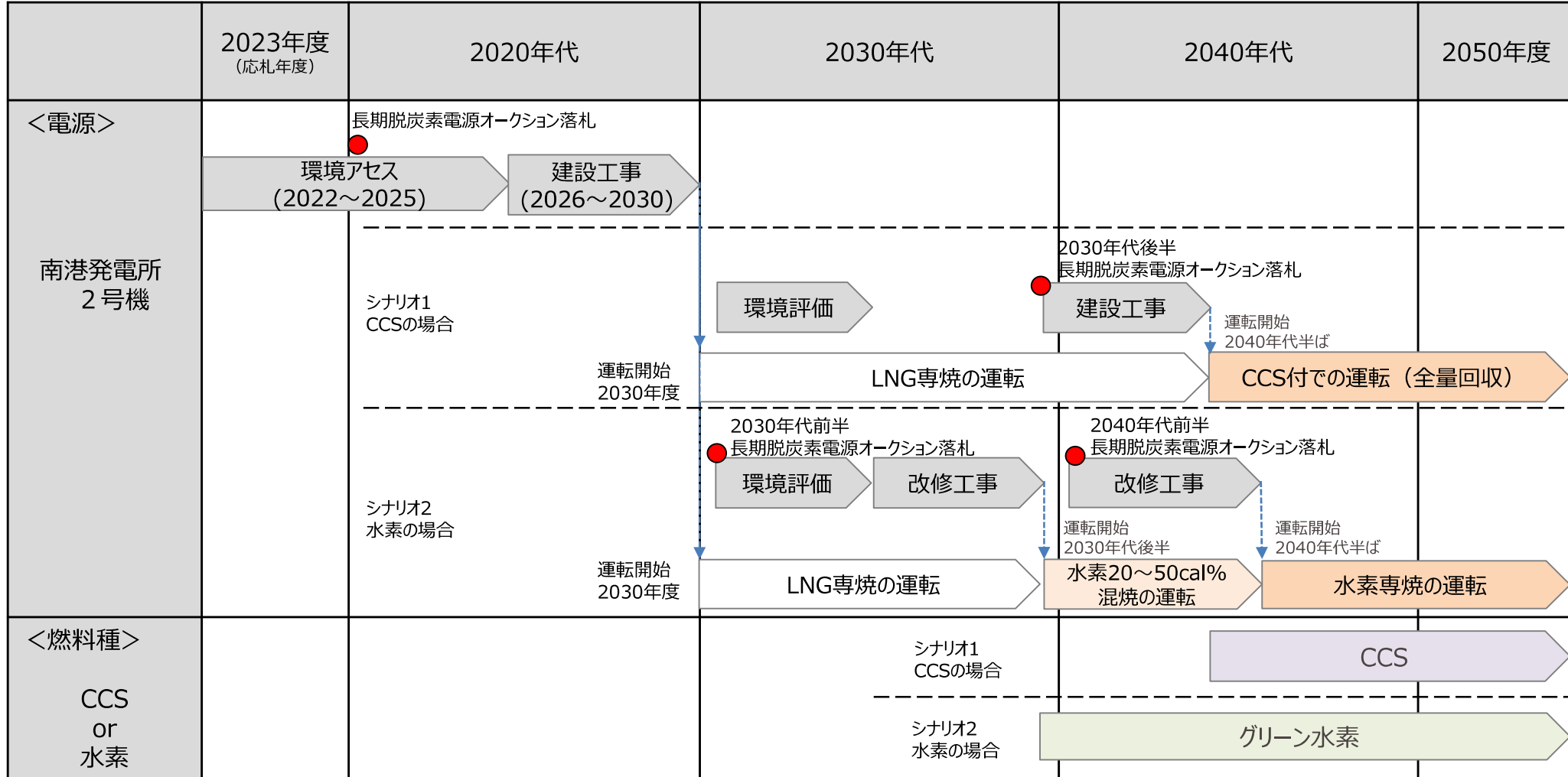


	2023年度 (応札年度)	2020年代	2030年代	2040年代	2050年度
<p><電源></p> <p>南港発電所 2号機</p>	<p>長期脱炭素電源オークション落札</p> <p>環境アセス (2022~2026)</p>	<p>建設工事 (2026~2030)</p> <p>シナリオ1 CCSの場合</p> <p>シナリオ2 水素の場合</p>	<p>環境評価</p> <p>2030年代前半 長期脱炭素電源オークション落札</p> <p>改修工事</p> <p>LNG専焼の運転</p>	<p>2030年代後半 長期脱炭素電源オークション落札</p> <p>建設工事</p> <p>2040年代前半 長期脱炭素電源オークション落札</p> <p>改修工事</p> <p>水素20~50cal% 混焼の運転</p>	<p>2050年度</p> <p>CCS付での運転 (全量回収)</p> <p>水素専焼の運転</p>
<p><燃料種></p> <p>CCS or 水素</p>			<p>シナリオ1 CCSの場合</p> <p>シナリオ2 水素の場合</p>	<p>CCS</p> <p>グリーン/ブルー水素</p>	
<p><前提条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 長期脱炭素電源オークションでの落札や、燃料費回収のための制度の適用を通じた、適切な投資回収の確保 ✓ 脱炭素化のための技術開発の実現及び実証試験の成功 ✓ CO2分離回収以降のサプライチェーン構築(CO2貯留地の確保、CO2大型船の技術開発、液化貯蔵基地の整備 等) ✓ 水素サプライチェーン構築(水素上流開発、水素輸送船の技術開発、水素拠点の整備 等) 					



<前提条件>

- ✓ 長期脱炭素電源オークションでの落札や、燃料費回収のための制度の適用を通じた、適切な投資回収の確保
- ✓ 脱炭素化のための技術開発の実現及び実証試験の成功
- ✓ CO2分離回収以降のサプライチェーン構築(CO2貯留地の確保、CO2大型船の技術開発、液化貯蔵基地の整備 等)
- ✓ 水素サプライチェーン構築(水素上流開発、水素輸送船の技術開発、水素拠点の整備 等)